2025年度 昭和医科大学 医学部（一般選抜I期）そっくり類題問題冊子

科目：小論文（二次試験・60分・600字以内） & 国語（一次試験選択・2教科140分）｜TMPS医学館 過去問解説図書館

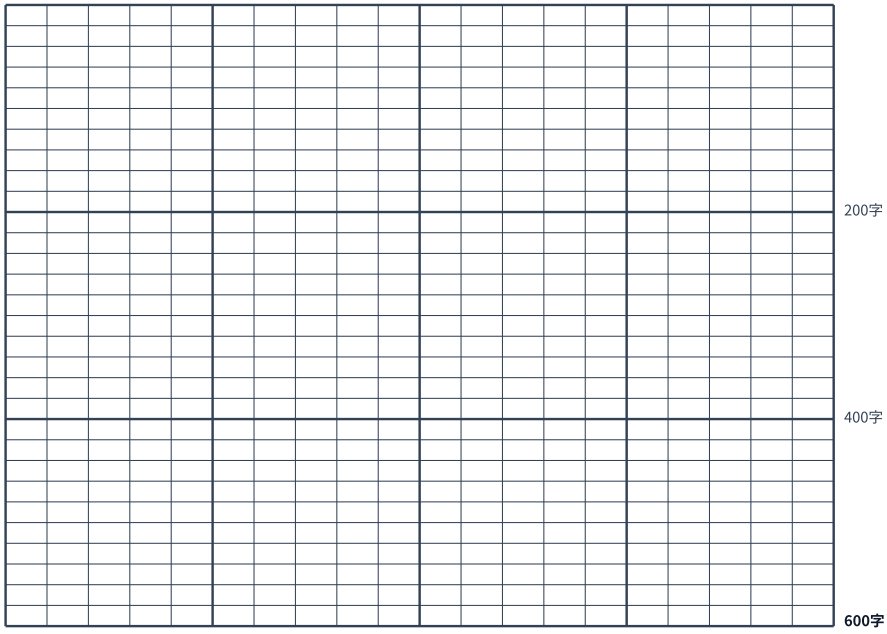
【注意事項】 1. 小論文は **600字以内**（20字×30行）で記入し、アルファベットと数字は2文字を1マスに記入してください。 2. テーマA（医療制度・キャリア倫理型：2月15日実施分対応）とテーマB（臨床コミュニケーション型：2月16日実施分対応）の2題を収録しています。

【小論文 類題テーマA】医師の地域・診療科偏在とキャリア形成（60分・600字以内）

近年、医師が都市部や特定の診療科に集中し、地方や外科・産科・救急などの診療科で医師不足が深刻化する「医師偏在」が大きな社会問題となっています。この対策として、医師少数区域での一定期間の勤務や診療科ごとの定員調整など、制度的な措置を導入する議論が進められています。この「医師偏在対策」が医療現場および若手医師に与える影響と課題について、あなたの意見を600字以内で述べてください。

【小論文 類題テーマB】オンライン診療・AI問診時代の患者・家族との関係構築（60分・600字以内）

近年、医療現場において電子カルテやタブレット端末、オンライン診療などのデジタル技術が急速に普及しています。医療従事者が質の高い診療を提供するためには、患者およびその家族との良好な信頼関係を構築することが不可欠です。デジタル機器を介する機会が増えている状況下で、患者および家族とより良好な関係を築くためにどのような工夫を行いますか。あなたの考えを600字以内で述べてください。



小論文 600字原稿用紙（20字 × 30行 ＝ 600字・目標記述量 510〜570字）

【一次試験選択「国語」そっくり類題】生命科学と人間の尊厳（目標時間 65分）

［**類題 大問一：現代思想・医療倫理評論文（熊野純彦『〈権利〉と〈平等〉をめぐる断章』対応）**］
人間は生まれながらに多様な身体的・知的能力の差異を抱えており、能力や所有する資源が能動的に働く場面では、その差異はむしろ［ ① ］する傾向をもつ。しかし同時に、人間が傷つきやすい［ ⑥ ］をもち、呼吸し、飢えや渇きを満たさなければ生存できないという最下の条件、すなわち「欠如と必要（必然性）」においては、すべての人間はひ

としい。大気や水のように生を根底で支える始原的なものは、本来だれかの排他的な［ ⑦ ］の対象とはなりえない〈共有財〉である。

設問1 空欄［ ① ］に入る語として最も適切なものを次から選べ： ア 縮小　イ 消滅　ウ 拡大　エ 固定

設問2 空欄［ ⑥ ］・［ ⑦ ］に入る漢字二字をそれぞれ答えよ。

設問3 「能力における差異」と「欠如における平等」の対比を踏まえ、医療や福祉がすべての人に保障されるべき根拠を 60 字以内で説明せよ。

［類題 大問二：生命科学論説文（江上不二夫『生命を探る』対応）］

ガラスのコップは壊れなければそのままの形を保つが、これは物質の入れ替わりを伴わない「消極的維持」にすぎない。これに対して生物は、体内の構成物質を絶えず合成・分解して入れ替えながら、また損傷を受けても修復しながら、種に固有の形態や機能を保つ「正常な特異的な構造の積極的維持」を行っている。そしてこの積極的維持を根底で支えている最も主要な方法こそが、細胞およびその構成成分の「自己増殖」であり、さらに長期的な環境との関わりの中で新たな特異的構造をつくりあげる「積極的な発展（進化）」を可能にしている。

設問1 「消極的維持」と「積極的維持」の決定的な違いを二行以内で説明せよ。

設問2 筆者が「正常な特異的な構造の積極的維持」と「進化（多様な種の誕生）」は矛盾しないと述べる理由を三行以内で説明せよ。

国語 類題 大問一 設問1〜3 解答欄

国語 類題 大問二 設問1・設問2 解答欄